

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	柘植ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	柘植ゼミ 1
<b>タイトル</b>	どうすれば加古川の観光を活性化させられるか？		
<b>テーマ群</b>	g)その他		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p><b>研究の背景と目的：</b> 様々な研究機関やメディアが、それぞれの評価基準に基づいて都市や地域の魅力度を評価し、ランキングなどを作成しているが、その妥当性については議論がある。あるランキングにおいて、加古川市の魅力度が私たちの想像よりもはるかに低く評価されているのを見て、そのランキングの妥当性に疑問を持った。そこで私たちは、本当に加古川市はそれほど魅力がないのかを確認するため、加古川市を訪問し、街の雰囲気や特産品について調査を行った。その結果、加古川市には加古川をはじめとした美しい自然やおいしいご当地グルメもあり、魅力がないとは思わなかった。一方で、それらの魅力的な資源があるにも関わらず、観光客が少ないことを疑問に思った。そこで、私たちは「どうすれば加古川市への観光客を増やすことができるのか」という問いを立て、地域の資源を活用した観光振興策を提案することを目的とした研究を行うことにした。</p> <p><b>研究の内容と期待される成果：</b> どうすれば、加古川市への観光客を増やすことができるのかを明らかにするために、私たちは現地調査などに基づき、加古川市の地域資源を活用した新たな観光イベントなどを提案するとともに、それらに対してどの程度の潜在的な需要が存在するかをアンケート調査により予測する。加古川市では、若者の観光客が少ないことや日帰り観光客が多いことが課題となっているので、若者が参加したいと思うイベントや宿泊客の増加が期待できるイベントを提案する。アンケートは、加古川市を訪れる可能性がある若者を対象に実施し、分析にはマーケティングの分野で用いられる「ベスト・ワースト・スケーリング」を用いることを検討している。この研究によって、加古川市の観光振興に役立つ提案を行うことができると考えられる。この研究の成果は、加古川市・甲南大学・神戸新聞社が連携して行う「加古川『知』を結ぶプロジェクト」の成果報告会で報告する予定である。</p>		